

令和3年度富士山静岡空港特定運営事業等評価結果

静岡県スポーツ・文化観光部

1 県の評価結果

＜評価区分＞○：適 △：是正勧告は要しないが、改善を求める ×：要是正勧告

対象	事業等	評価結果		
		評価区分	評価の考え方	
要求水準の充足	事業全体に係る事項	○	関係規程、要領や計画等を策定し、各事業を適切に実施している。	
	空港運営事業	○	空港基本施設等運営等業務 空港航空保安施設等運営等業務 航空機給油施設運営等業務 空港用地運営等業務	
	旅客ビル施設等事業	○	旅客ビル施設運営等業務 貨物ビル施設運営等業務 駐車場施設等運営等業務 空港展望施設等運営等業務 浄化槽施設運営等業務	
	環境対策事業	○	航空機騒音対策業務 航空機騒音測定施設維持管理業務	
	附帯事業	就航促進・利用促進事業	○	航空路線減便時においてもアクセスバス路線を維持するなど、適切に実施している。
		地域連携事業	○	地元旅行者や鉄道事業者等と協力して旅行商品を企画するなど、適切に実施している。
	その他義務事業	○	空港アクセス道路景観形成地維持業務	
	任意事業	○	西側県有地の段階的な開発に向けた取組やガソリンスタンドの運営維持など、適切に実施している。	
経営	○	新型コロナウイルス感染症の影響が長期に及んでいるが、国内線の航空需要に回復傾向が見られたことから、赤字幅は縮小している。また、国際線の全便欠航・運休が続く厳しい経営状況ではあるが、借入は行わず、運転資金は確保されており、経営に問題は見られない。		
更新投資	○	国際線の復便を見据えたチェックインカウンターの改修等の更新投資を適切に実施している。		
任意事業	○	西側県有地の段階的な開発に向けた取組やガソリンスタンドの運営維持など、適切に実施している。		

2 富士山静岡空港特定運営事業等評価委員会の意見

- 中国はゼロコロナ政策の影響を受け復便が遅くなる可能性があるため、他路線の復便、誘致の取組が重要である。
- インバウンド需要の回復を見据えて、BEP（損益分岐点）に至る航空便数や乗降客数を実現するための施策を次年度の事業計画で示してほしい。また、伊豆の温泉等の観光資源を活かした旅行商品を企画し、就航先に向けてPRできるとよい。
- 富士山静岡空港は静岡、山梨両県の空港であり、国際線の復活を見据えて県や関係団体と協力しながら、山梨県からの集客に取り組んでほしい。
- 原材料高の影響も考慮し、次年度の事業計画を策定されたい。
- コロナ禍からの復活を支える人材育成や士気向上の取組が重要である。
- 今後のキャッシュフローに留意し、事業を実施されたい。
- 富士山静岡空港は地の利があるので、将来的には、プライベートジェットについて盛り込んだ事業計画を策定されるとよい。
- 空港運営事業を中心としつつ、長期的な視点として、空港運営以外の事業の展開も検討するとよい。